朝剣通信

Vol. 017

平成20年4月1日号
発行：朝霞市剣道連盟（市武道館）
編集：朝霞市剣道連盟事務局
住所：朝霞市本町1-12-3朝霞市武道館
連絡先：平井asakabudokan@hotmail.co.jp

二年間を振り返って

朝霞市剣道連盟少年部
後援会長　小林八郎

永いようで短かった二年間がもう過ぎようとしています。何も解からず引き受けた役職でしたが何とか大過なく終わる事ができそうです。

たった二年でしたがいろいろな事がありました。まず一年目は新入会員が入らずまた、途中やめる子が数人出た時はさすがに私もショックでしたが子供たちの頑張るすがたを見ていると勇気付けられて何とか気持ちを切り替える事ができました。子供たちが徐々に成長している姿を見ていると悩みなどあるときも随分と助けられた様な気がします。そして一年が経つと本当に逞しくなったと改めて感心させられて、また一年経つとおどろくようでした。

去年はまた卒業生が多くて一時はがらんとした道場でしたが新しく入って来た子も多かったので道場はまた活気をとりもどし、賑やかになった事でほっとしたのが何か昨日のような気がします。

また、合宿、暑中稽古、寒稽古、部内試合、対外試合等いろいろと思い出は尽きませんが何よりも大きな怪我等が無かった事は良かったと思います。この間ご指導戴いた先生方、そして一番のありがたかったのは陰で支えて戴いたお父さん・お母さん方本当にありがとうございました。

最後にこれからの朝霞市剣道連盟及び後援会の益々の発展と子供たちの活躍を祈念いたしまして結びの言葉にします。ありがとうございました。

進学祝、先達者杯剣道大会の様子

三月二十三日、進学祝、先達者杯剣道大会が朝霞市武道館において実施されました。試合に先立って、今日で卒業となる六年生四名による形の披露がありましたが、立派で見事な形でした。試合も熱戦が繰り広げられました。試合後、千葉審判長から「全体的に見て、試合も見学も非常に立派だった。特に低学年のコートは声が大きく出ていて気持ちが良かった」との言葉がありました。

先達者杯連覇の小林哲朗選手
5年生の小林哲朗選手が見事に先達者杯の連覇を達成しました。

スポーツフェスタ

二月二十三日、「スポーツのすばらしさ、健康のありがたさを実感しよう」をテーマに朝霞市体育協会主催のスポーツフェスタが開催されました。剣道も市武道館、錬成会合同で実施しました。小学生を中心に四十二名という多数の参加者が剣道に触れました。当日ご協力いただいた少年部のこどもたち、先生方、後援会のみなさん、ありがとうございました。

スポーツフェスタの様子
当日は本当にたくさんのこどもたちが剣道を体験しました。寒い中でしたが、みんなはだしになって楽しんでいました。

大会、試合等の結果報告

第17回さくら草旗争奪剣道大会
3月21日

【出場選手】
國松哲平、照井佳、金子大樹、山浦瑞穂、御法川大輝、金子沙織、岩沢桜（一中）、佐野弘樹（一中）

【結果】
リーグ戦第1試合
蓮田錬心館2勝3分2敗代表戦で勝○
リーグ戦第2試合
東松舘剣道スポーツ少年団
0勝3分4敗で負●　一次リーグ敗退

監　督：柴田篤三
審判員：酒井伊智郎
事務局：渡辺文男

さくら草旗争奪剣道大会講評

中学生2名、小学生6名で参加しました。卒業を控え、6年生を軸にチーム力向上を目指してきました。

対戦は、試合慣れした蓮田チームと基本と良質な稽古を積み上げた東松舘チームが相手となりました。勝負にかける執念の差で蓮田チームには苦戦をしましたが、代表戦で国松君が捨身のかつぎ小手を鮮やかに決め僅差で勝利しました。

東松舘には3分け4敗でしたが、実に見応えの有る試合内容でした。気力で互角、制限時間内、気を抜くことなく攻め続けた圧力に場外に出てしまった相手選手も出たほどです。ただ、姿勢正しく冴えの有る技を繰り出す東松舘の剣風には学ぶべき点が多々ありました。柴田

進学祝・先達者杯剣道大会　3月23日

	優勝	準優勝	3位
1年	藪上楓	－	－
2年	渡部あすか	阿部菜月	－
3年	北村謙太	－	－
4年	金子大樹	國松哲平	大貫昂涼
5年	小林哲朗	北村征大	照井佳 榎本成樹
6年	金子沙織	－	－

先達者杯	小林哲朗

朝霞市武道館を卒業する6年生4名に送ることば、贈ることば

朝霞市剣道連盟　指導部長　柴田篤三

剣道を通じてお互いに稽古をしてきた仲ですが、いくら成長をしても次々と新たなテーマが生まれてきて、どんなに時間があってもきりがない世界だと感じています。おなごり惜しいが、この辺で環境と場所を変えて新たな気持ちで次の中学での段階を経験してもらえたらと思います。いつの日かまた新たな関係で剣道を楽しめる仲になりたいと思います。卒業おめでとうございます。

剣道は人間形成が目的、剣道の試合は勝つことが目的です。正しい姿勢で正しい心をもって正しい剣道を行うことが修行の基本です。多くの先生、先輩から色々な教えを受けると思いますが、大切なことは素直に学び、工夫をし、自ら進んで稽古することが、自分の血となり肉となり、実力となります。たとえ歩みが遅くとも、素直にコツコツと努力する人間であることを望んで送る言葉と致します。

指導部　浅見貞昭

春の花の香漂う、佳き季節、佳き日に新しい人生の一ページをめくることに心からお祝い申し上げます。ご両親様に於かれましては、我が娘、息子がかくも美しく、逞しく育ってくれた事に、お喜びもひとしおの事と思います。

さて、剣道では、金子沙織さん、山浦瑞穂さん、暑い日も寒い日も負けず休まず稽古を続けて来た事は、本当に頑張ったナと思います。全日本や境町の大会、夏の合宿等、色々な思い出があると思いますが、ご自身の内に大切にしまっておいて下さい。鮭川圭一郎君、上倉良太君お二人は、入部間もなく卒業となってしまいますが、剣道の楽しさを少しでも分ってもらえたでしょうか。中学生になっても、剣道から離れず、勉強と剣道の文武両道で頑張って欲しいです。

私の好きな言葉を贈らせて頂きます。茶道の「千利休」と云う人の言葉ですが、「稽古とは、一より習い十を知り、十よりかえるもとのその一」です。最初は「一」から習い、段々に「二・三・四」と進み、いよいよ「十」となり、その後は「十一」と、また「一」なのです。しかし最初の「一」と「十一」「二十一」では違うのです。君達は今、小学校卒業という「十」の所にいますが、四月からは「中学一年生」また「一」なのです。しかし小学校一年生と中学校一年生とでは心も体も考え方も違います。進歩しているのです。だから途中の「二」～「九」まで精進・努力して「一」に戻った時、反省し将来に向けて心新しい一歩を歩み出して下さい。ちょっとしつこい言い回しになって申し訳ありませんでしたが、健康に充分気を付けて楽しい中学校生活を送って下さい。本当に卒業お芽出とうご座居ました。

指導部　吉田洋

四名のみなさん、卒業おめでとうございます。長い人で五年間、剣道を学び続けてきたことに対し、心から「おめでとう」と言います。剣道を自分から、親から勧められて始めた人や、きっかけはさまざまですが、実際に剣道場で剣道を学んできた事実は、まちがいありません。また、夏の暑い時期、冬の寒い時期に他の人が経験しないことを剣道で学び、当たり前として、当たり前に成し遂げたことが、人間として最も大切なことであると思います。みなさんも、これから大きくなるにつれて、耳にすることがあると思いますが、「言うは易く行うは難し」とありますが、人として当たり前のことができるようになります。

私は、他の先生よりも怖い存在であったかもしれませんが、願いは、君たちが立派な大人になっていただき、剣道の心を忘れないでいただきたいと思っております。最後になりますが、中学では、是非、剣道で学んだ一流のあいさつを心がけて下さい。

指導部　永浦泉

卒業おめでとうございます。今までやってきた稽古は長かったですか。短かったですか。次の人生の一段階ですが、剣道をやってきて何か見つけましたか。これから進む道には楽あり苦ありが待っていると思います。今まで剣道で身に付けた事を少しでも大切にして下さい。

指導部　手塚利夫

「平常心をもって一切のことをなす人、是を名人と云う也」江戸時代、柳生宗矩（一五七一～一六四六）の言葉です。実生活では、この平常心という状態を維持することは実に難しいことです。日本人は、平常心を維持するための脳内物質が少ないように思えます。スポーツの国際試合を見ている時などは特に感じます。フィジカルな面は近年かなり改善されたと思いますが、肝心なタイミングでどうしてもメンタルの弱さが露呈してしまうのです。野球やサッカーなどは海外の一流チームに所属し、数々の経験を積んでいる選手も多いはずなのに、なぜでしょう。やはり生理学的な面で違いがあるとしか思えません。では平常心を養うには何が必要なのでしょうか。ひとつは「経験」であり、ふたつめは「集中力」、そして最後に必要なものは「自信」だと思います。自分自身を信じることができるということは、それまでに過酷な稽古や勉強を誰よりも多く積んできた証だと思うのです。逆にろくに努力もしないで自分を信じてしまうと、それは「過信」となり、必ず大きな失敗を伴うことを忘れてはいけません。これからも勉強、スポーツ、日々の生活にと平常心を心がけて歩んでいってください。

卒業生vs.お父さんお母さんの親子大会

卒業生
左から山浦瑞穂、金子沙織、上倉良太、鮭川圭一郎

先鋒　上倉対父

三将　鮭川対母

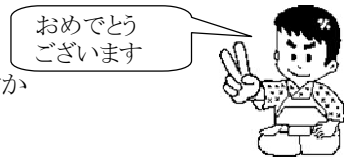
副将　山浦対母

卒業生を送る行事として恒例の親子大会が今年も行われました。対戦されたお父さん、お母さん方はわが子の成長を実感されたのではないでしょうか。また、こどもたちは今までの感謝の気持ちを伝えられたことと思います。中学校へ上がっても朝剣出身であることを誇りとして、勉強にスポーツに元気一杯がんばってください。健闘を祈ります。

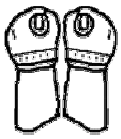
大将　金子対母

昇段・昇級審査会結果

3月23日 4級：北村征大（3級特進）　5級：大貫昂涼
7級：阿部菜月、蛭川寛之、斉田真太郎、渡部竜大、上倉孝二郎、小村知大、渡部あすか



4月、5月の主な行事

朝霞市剣道連盟	埼玉県・全国
4/6　少年部第42期生入会式（市武道館） 4/13　役員会（市武道館） 4/20　錬成会合同稽古会 4/20　朝霞市剣道連盟定期総会（市武道館） 4/29　朝霞地区合同稽古会、朝霞地区連盟総会（新座総合体育館） 5/18　錬成会合同稽古会 ※昇段審査については武道館掲示板をご参照ください。 　または千葉までお問い合わせください。 ※各講習会等の案内については、武道館に都度に掲示しておきますので各自目を通すようにしてください。	4/27　南部地区剣道講習会(朝霞市立総合体育館) 4/29　六段審査会（京都市） 4/30　七段審査会（京都市） 5/1、2　八段審査会（京都市） 5/10　七段審査会（名古屋） 5/11　六段審査会（名古屋）  5月の朝霞市剣道連盟の行事に関しましては定期総会において決定後、連絡します。

朝霞市武道館　4月、5月の稽古スケジュール

4月		少年の部		一般の部	場所
		初級	上級		
1	火		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
2	水				
3	木		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
4	金				
5	土				
6	日	9:00～10:30	10:30～12:00	12:00～13:15	市武道館
7	月				
8	火		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
9	水				
10	木		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
11	金				
12	土				
13	日	9:00～10:30	10:30～12:00	12:00～13:15	市武道館
14	月				
15	火		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
16	水				
17	木		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
18	金				
19	土				
20	日	9:00～10:30	10:30～12:00	12:00～13:15	市武道館
21	月				
22	火		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
23	水				
24	木		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
25	金				
26	土				
27	日	9:00～10:30	10:30～12:00	12:00～13:15	市武道館
28	月				
29	火		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
30	水				

5月		少年の部		一般の部	場所
		初級	上級		
1	木		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
2	金				
3	土				
4	日	9:00～10:30	10:30～12:00	12:00～13:15	市武道館
5	月		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
6	火				
7	水				
8	木		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
9	金				
10	土				
11	日	9:00～10:30	10:30～12:00	12:00～13:15	市武道館
12	月				
13	火		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
14	水				
15	木		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
16	金				
17	土				
18	日	9:00～10:30	10:30～12:00	12:00～13:15	市武道館
19	月				
20	火		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
21	水				
22	木		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
23	金				
24	土				
25	日	9:00～10:30	10:30～12:00	12:00～13:15	市武道館
26	月				
27	火		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
28	水				
29	木		18:30～19:45	19:45～20:45	市武道館
30	金				
31	土				

※5/6(火)の稽古は5/5(月)に振替えになっています。ご注意下さい。

上記スケジュールは変更になる場合があります。最新の情報は下記ホームページで常時確認できますのでご利用ください。
http://calendar.msn.com/asakabudokan@hotmail.co.jp

※朝剣通信のバックナンバーをご希望の方は
平井までメールにてご連絡ください。
連絡先asakabudokan@hotmail.co.jp

編集者随想

今年の誕生日が来たら五十歳になります。そんな時が実際に来るとは高校生のころには想像もできませんでした。今も本当のことなのか半信半疑です。そのような大変な節目の年なので、何か新しいことを始めようと考えました。「料理」「短歌」「書道」いろいろ考えましたがどれも来年でもできそうなことばかりに思えます。「やっぱりこはスポーツ系しかない。五十年の節目になるものにしよう。」ということでフルマラソンを走ろうと思い立ちました。先ずは形が大事ですからジョギング用の靴と心拍数とラップが測れる時計を買いました。今年の冬から来春を目指してトレーニングを開始したところです。剣道上達にも役立つと思います。一緒に始める方いませんか。また走ったことのある方、ご指導お願いします。　平井